



行国民の声を行政に届ける

沖縄行政評価事務所行政相談課業務係長

長嶺 忍

NAGAMINE Shinobu

- 平成22年 4月 総務省採用
- 沖縄行政評価事務所
- 平成23年 4月 沖縄行政評価事務所評価監視官付
- 平成24年 4月 行政評価局総務課地方業務室
- 平成25年 4月 行政評価局行政相談課
- 平成26年 4月 九州管区行政評価局第一部評価監視調査官
- 平成28年 4月 現職

『多様な窓口、行政相談』

私は現在、総務省沖縄行政評価事務所の行政相談課に所属しています。行政相談課は、その名のとおり、国民の皆様から行政に関する相談を受け付けています。

相談内容は福祉、道路、税金、年金など多岐にわたり、それらに関する国の行政などへの苦情や意見・要望について、公正・中立な立場で解決します。人の数だけ相談内容は異なり、関係制度などを調べていくと自分自身の勉強にもつながります。

相談の受付は多様な窓口を用意しており、事務所職員が電話やメールで対応するほか、他省庁の出先機関や県、市町村などの協力を得て一日合同行政相談所を開設し、ワンストップで悩みを解決する取組も行っています。

また、総務大臣が委嘱して県内に約70人(全国では約5,000人)配置されている行政相談委員も重要な受付窓口です。時には職員と行政相談委員が協力して相談所を開設することもあり、離島に向いてお手伝いをするなど、相談課の仕事は大変アクティブです！

『くらしの中に総務省』

皆様は総務省についてどのようなイメージをお持ちですか。私は、正直に言うと地味な役所ではないかと思っております。というのも、他省庁であれば機関名で業務内容の想像がつくと思いますが、「総務省」というと、どうもいろんな仕事をしているようだけど具体的にはよく分からない、そんな感覚ではないでしょうか。

ここでご紹介したいのが、総務省のキャッチフレーズ「くらしの中に総務省」です。まさに、総務省はくらしの中に地味に溶け込んでいるのです。ご紹介した行政相談もそうですが、その他にも国民生活の動向を数値で表す統計調査、住民に最も身近な行政を担う地方自治の支援、地デジやスマホなど情報通信技術の利活用促進など、国民生活に直結した仕事を行っています。

総務省は目立つ役所ではありませんが、国家機関という巨大な組織にしながら、自身も一国民であることを忘れずに、国民のくらしに密着した仕事ができる、そんな役所だと思います。

Some One Week

Monday

翌日の合同相談所開設に向けて必要物品等の最終準備(1回目)。

Tuesday

A市で合同相談所開設。全所を挙げた一大イベントです。



Wednesday

A市合同相談所の整理をしつつ、金曜のB市合同相談所開設に向けて準備。

Thursday

翌日の合同相談所開設に向けて必要物品等の最終準備(2回目)。

Friday

B市で合同相談所開設。終了後は打ち上げへ！



Private Time

沖縄行政評価事務所では、休日の部活動(?)が盛んです。転勤で沖縄勤務となった職員を中心に、シュノーケル、ホエールウォッチング、釣りなどアクティビティが充実しています。沖縄出身の私は、いつか行くさ〜とこれまでそのような遊びをしてこなかったので、今、県外出身の方から地元の魅力を教えてもらっているところです。